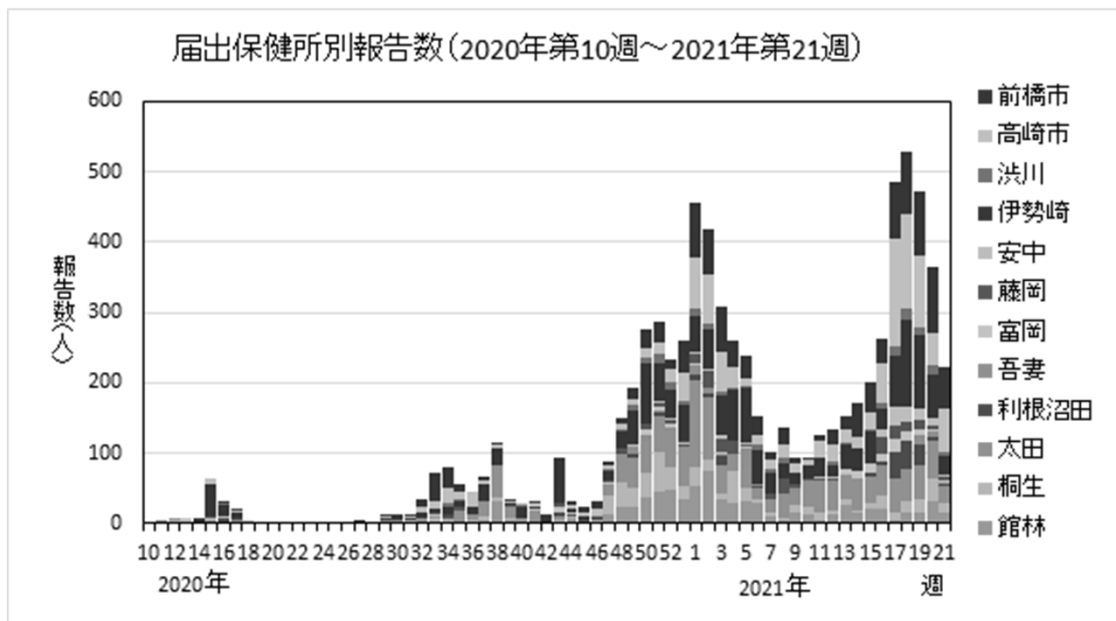
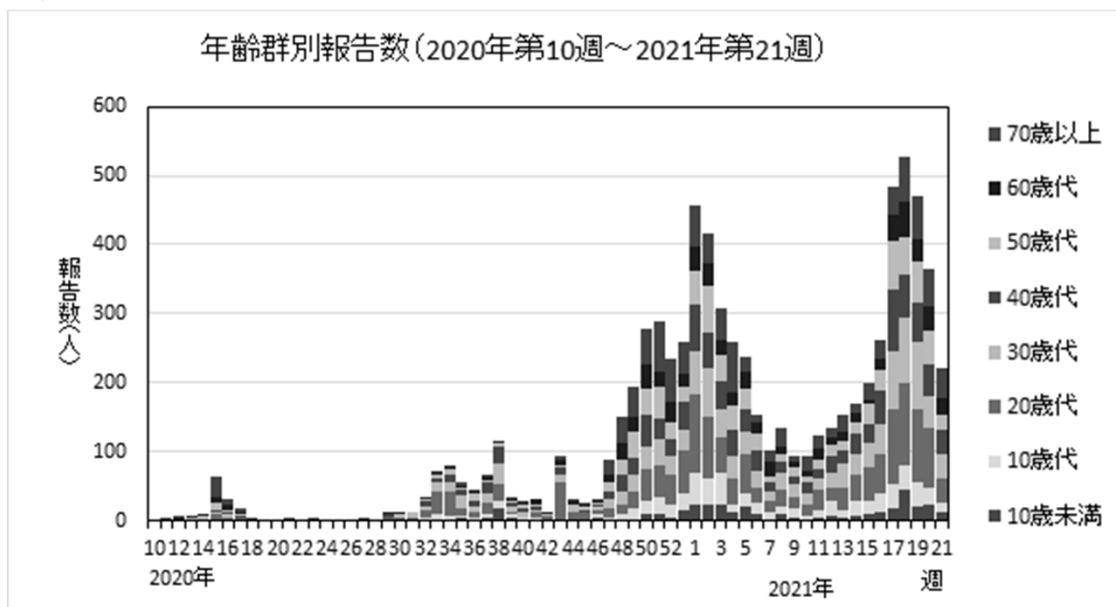


● 新型コロナウイルス感染症

- ◆ 2021年第21週（～5月30日）までの県内で報告された新型コロナウイルス感染症患者は、男性4,329名、女性3,492名、計7,821名でした。
- ◆ 5月（～30日）の報告数は1,726名で、4月の報告数1,065名から増加しましたが、第18週をピークに減少傾向にあります。届出保健所別では、高崎市が最も多く379名（22%）、次いで前橋市354名（21%）、伊勢崎328名（19%）でした。



- ◆ 5月の年齢群別報告数は20歳代が376名（22%）と最も多く、次いで30歳代が293名（17%）、70歳以上が236名（14%）でした。4月と同様、20～40歳代で報告数の約半数を占めていました。



【新型コロナウイルス感染症患者発生状況（5月31日公表）】

県内患者発生数：7,821名 県内死亡者数：138名

国内患者発生数（感染者：厚労省発表）：744,487名

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム配列解析について(Vol.8)

1) 新型コロナウイルス N501Y 変異株 PCR スクリーニング検査結果(2021年6月1日現在)

世界的にも感染が拡大し感染性や伝播性の増加等が懸念されるなど、WHO が「懸念される変異株」として警戒を強めている N501Y 変異株の PCR スクリーニング検査が実施されており、群馬県では現在までに計 612 人が確認されている。

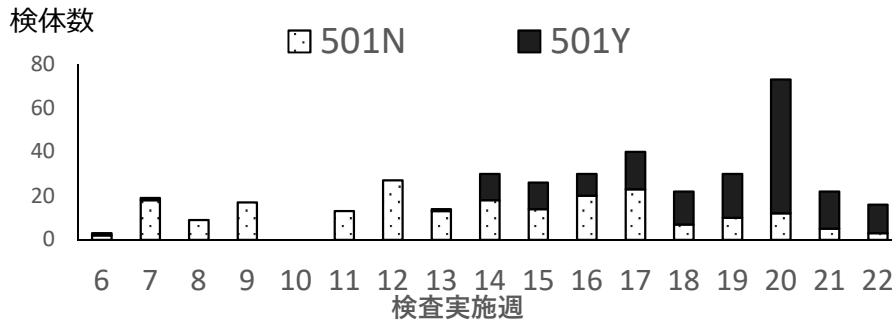


図1 衛生環境研究所で実施した N501Y 変異株スクリーニング検査結果 (n=391)
(県外、民間検査機関、医療機関で検査実施されたもの、解析不明は含まれず)

2) 新型コロナウイルスゲノム配列解析結果(2021年19週(5月10日~16日)まで)

群馬県衛生環境研究所では、地域における感染状況の把握を目的として、国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センターの協力のもと新型コロナウイルスの全ゲノム配列の解析を行っている。検体採取週における系統の時系列チャートでは、2021年5週(2月1日~7日)以降は、Spike タンパク質に E484K 変異を有する R.1 の検出が目立つようになった。また、N501Y 変異株(いわゆる英国型, B.1.1.7)も13週(3月29日~4月4日)以降多く検出されている。19週(5月10日~16日)には L452R、D614G、P681R 変異を有する B.1.617.2(いわゆるインド型)が県内で初めて検出された。

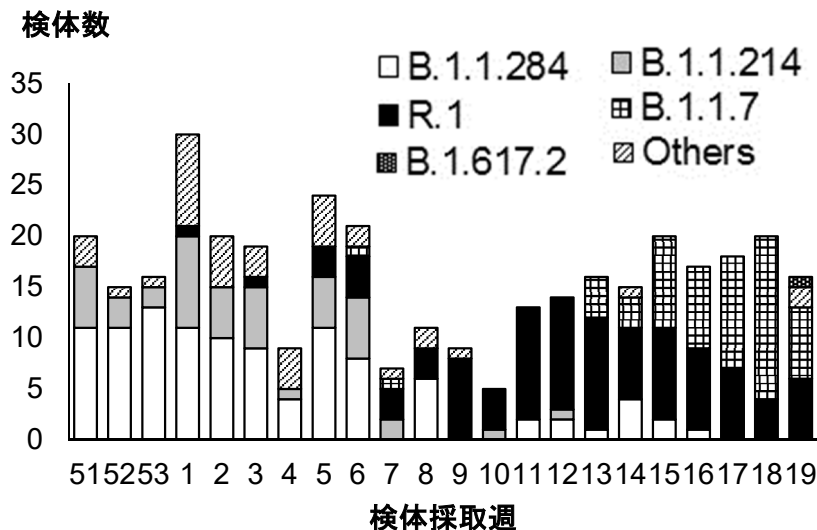


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析
(県外、民間検査機関から感染研に送付されたものは含まれず)